流域治水プロジェクト推進を担う施工技術等　⑬

増杭・底版拡幅＋地盤改良による排水機場の耐震補強

●工事名
有本揚排水機場耐震補強工事
●施工者
株式会社　淺川組
●施工箇所
和歌山県和歌山市有本地先
●発注者
近畿地方整備局　和歌山河川国道事務所

位置図

＜工事概要＞

紀の川左岸5．6kmの有本揚排水機場では、切迫する南海トラフ巨大地震など大規模地震発生時の被害の軽減を図るため、①基礎の補強（増杭・底版拡幅＋地盤改良）、②排水機場本体の補強（せん断補強鉄筋挿入）、③建築構造物の耐震補強（壁増厚）の3段階の耐震補強を推進しています。

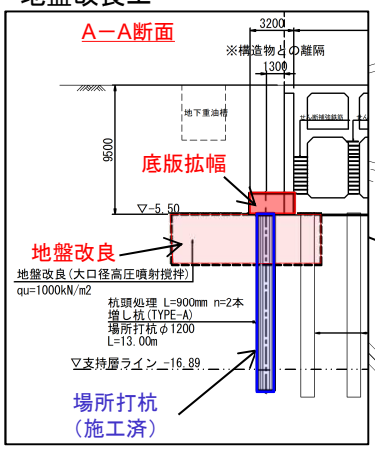
・大口径高圧噴射攪拌N＝26本、底版拡幅　1式、せん断補強鉄筋挿入N＝851本
排水機場建築構造物耐震補強　1式

＜技術の特徴＞

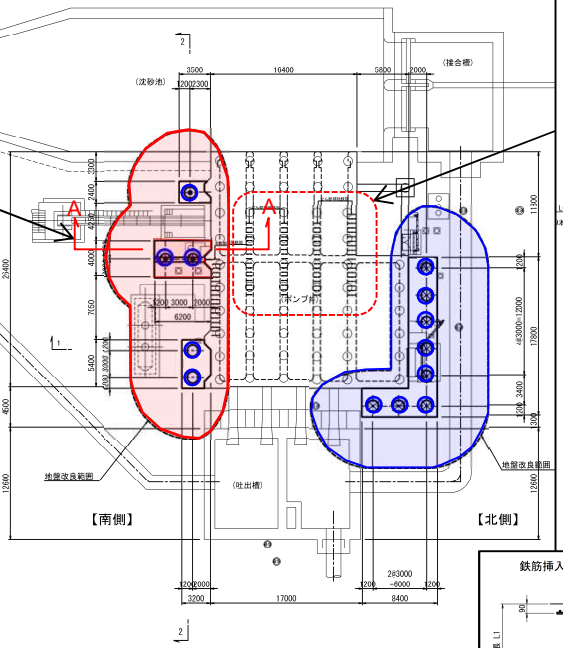
本工事では、既設建屋により限られたスペースにおいて、底版拡幅（場所打杭は施工済）と地盤改良による「基礎の補強」、せん断補強筋の挿入及び壁増厚による「構造物の耐震補強」を複合的に実施しています。

特に地盤改良では特許工法「SUPERJET工法」を採用し、高品質な改良体を構築しています。

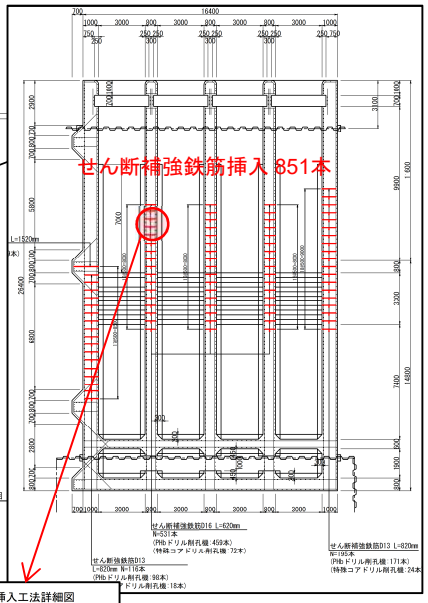
地盤改良工

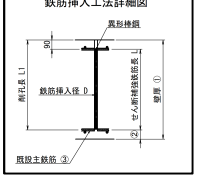
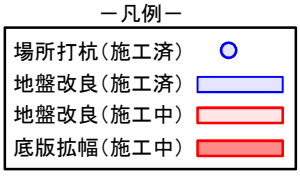


有本揚排水機場 平面図



せん断補強鉄筋挿入





－凡例－